

1. 調査の目的・内容

- 平成24年度に調査開始、今回が9回目。
※平成28年度は熊本地震、令和2年度は新型コロナウイルスや令和2年7月豪雨のため実施せず。
- 県民アンケート「県民の生活や県の取組みに関する意識調査」の結果に基づいて、“県民総幸福量（AKH）”を算出するとともに、地域別や年齢階層別での違い等を整理。
- 調査の対象者や項目等は、次のとおり。

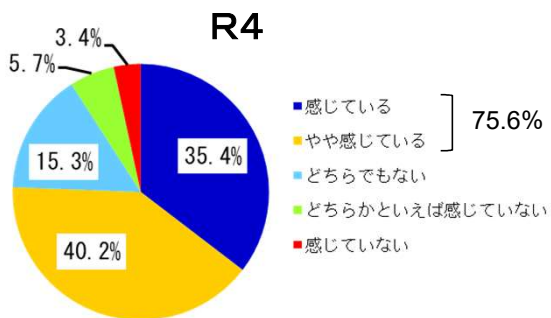
- ◆ 対象者：県内在住の18歳以上の男女3,500人（無作為抽出）
- ◆ 期 間：令和4年（2022年）6月6日～6月20日
- ◆ 回収数：1,720件（回収率：49.1%）
- ◆ 項 目：
 - 直観的な幸福度（現在、幸福を感じているか）
 - AKHの“4つの分類”で重視する順位
 - AKHの“4つの分類”に関する満足度
 - 回答者の属性（性別、年代、居住地、居住年数）

2. 主なまとめ

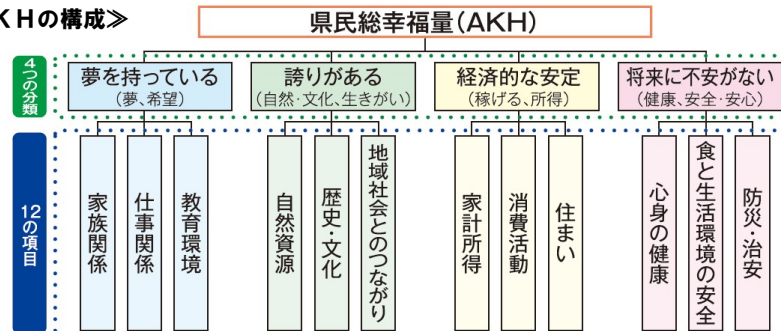
(1) 全体集計結果について

- 「直観的な幸福度」について、幸せだと感じている県民の割合（「感じている」+「やや感じている」）は「75.6%」であった。[図1]
※R3年度は73.9%。
- 今年度のAKHは「68.5」であった。[図2]
- “4つの分類”で重視する順位の平均値は、以下の順となった。[図3]
「経済的な安定」、「将来に不安がない」、「夢を持っている」、「誇りがある」
- “4つの分類”の満足度の数値（平均値）は、以下の順となった。[図4]
「夢を持っている」、「誇りがある」、「経済的な安定」、「将来に不安がない」

[図1:「直観的な幸福度」]

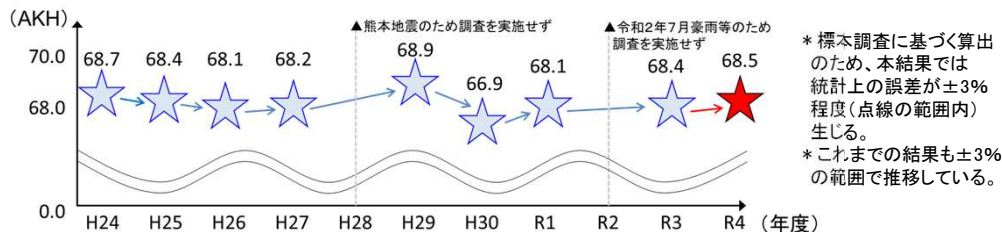


<AKHの構成>

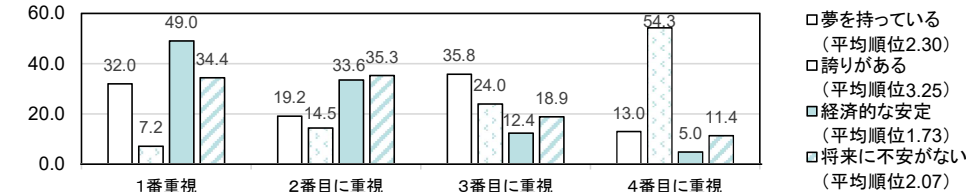


- AKHは、蒲島県政の基本理念である「県民総幸福量の最大化」の考え方を県民と共有し、効果的な施策につなげることを目的として熊本県が独自に作成する指標。
※「Aggregate Kumamoto Happiness」の略称。
- 幸福の要因を「夢を持っている」「誇りがある」「経済的な安定」「将来に不安がない」の4つに分類し、それらをどの程度重視するかという「ウエイト」や、各分類に属する項目の「満足度」を県民アンケートで測定し、それぞれ掛け合わせて合計する仕組み。
- 平成24年度から令和元年度にかけて、毎年度、同じ内容の調査を実施してAKHを算出することで、全体はもとより、地域別や年齢階層別などの属性別でも前年度との比較分析を行い、その結果を政策の評価や立案などに活用。
※平成28年度は熊本地震、令和2年度は新型コロナウイルス感染症及び令和2年7月豪雨のため、調査を実施せず。
- 過去の調査結果により、AKHと直感的な幸福度の間に相関があることが明らかになったため、令和3年度からは、直感的な幸福度からAKHを算出。また、「ウエイト」を算出する設問を、「重視する順位」を尋ねる設問に変更するなど、設問内容を平易にして調査を実施。

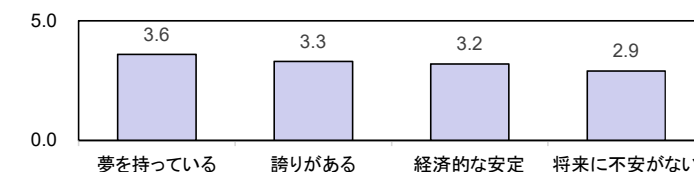
[図2:AKHの値]



[図3:“4つの分類”ごとの重視する順番の回答割合(%)]



[図4:“4つの分類”の満足度(平均値)]



(2) 属性別のAKH（クロス集計結果）と“4つの分類”について

① 地域別 [図5]

- AKHは、熊本市、玉名、菊池、阿蘇、球磨が県の値を上回った。
- 熊本市、菊池、阿蘇、八代、球磨、天草で前年度より数値が上昇し、それ以外は数値が低下した。[参考1]

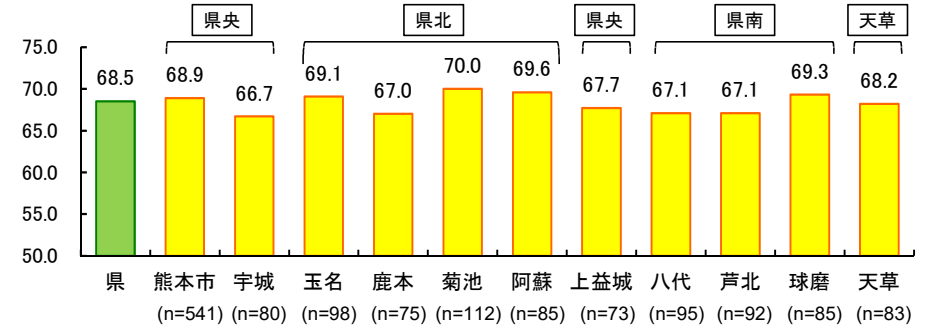
② 年齢階層別 [図6]

- AKHは、70歳以上が最も高く、40歳代が最も低くなった。
- 50歳代、60歳代で前年度より数値が上昇し、それ以外は数値が低下した。[参考2]

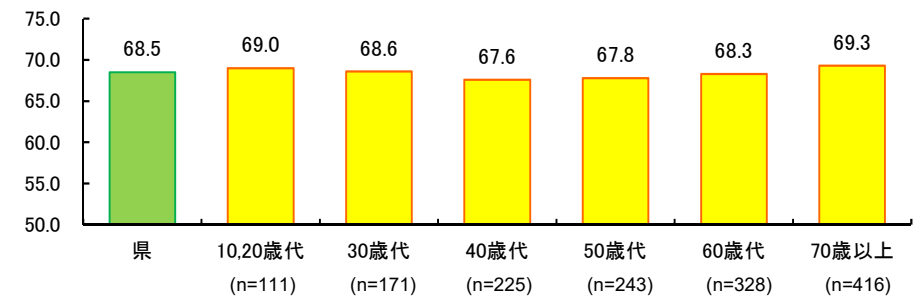
(3) これまでの調査で明らかになったこと及びAKHの今後の活用について

- これまで8回の結果より、以下の点を確認した。
 - ア 「幸福の要因として非経済的な要因も重要であること」
 - イ 「地域によって求める幸福の形は異なること」
 - ウ 「AKHと『直感的な幸福度』の間には相関があること」
⇒「直観的な幸福度」からAKHの算出が可能となった
 - エ 属性別（地域別、年齢階層別）のデータでは、年度ごとのバラつきがやや大きくなるため、引き続きデータの一層の蓄積を通じて傾向を把握していく必要があること
- ①を踏まえ、AKHの3つの活用方法（「政策評価」「きめ細やかな立案」「住民参加型の政策形成」）の深化に向けて、今後も次の取組みを進めていく予定。
 - ア 調査の継続によるデータの蓄積及びデータ分析の深化
 - イ 地域ならではの幸福の姿を見出すワークショップ等の開催 ほか

[図5: 地域別のAKH]



[図6: 年齢階層別のAKH]

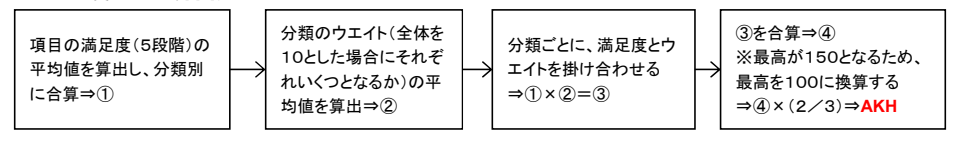


※ n(有効回答数)は、直感的な幸福度の有効回答数。
 ※ nが小さくなるほど、統計上の誤差が大きくなることに留意。
 ※ 10歳代ではnが少ないため20歳代と統合して表記。

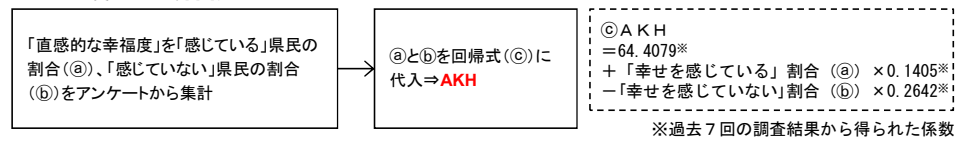
AKHの算出

《算出手順》

R1年度までの算出方法



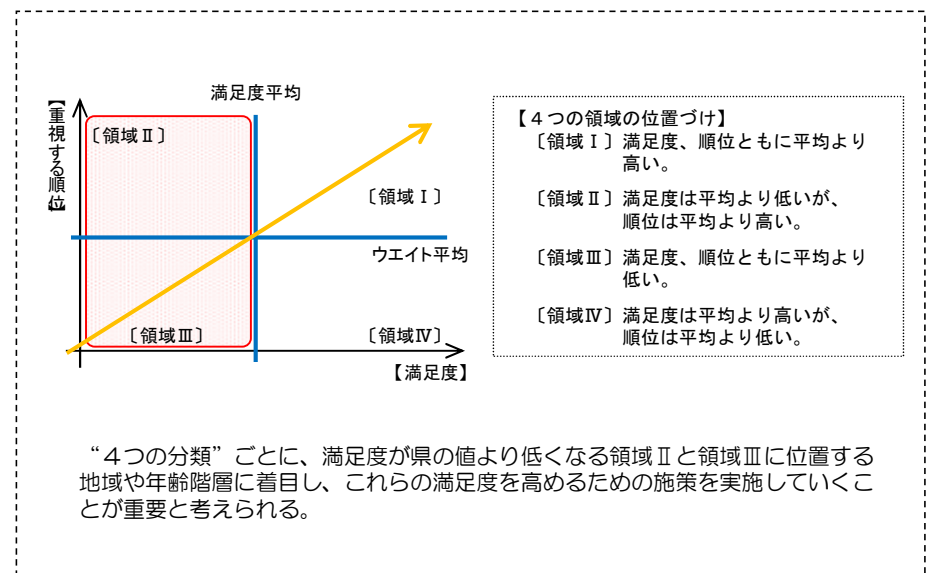
R3年度からの算出方法



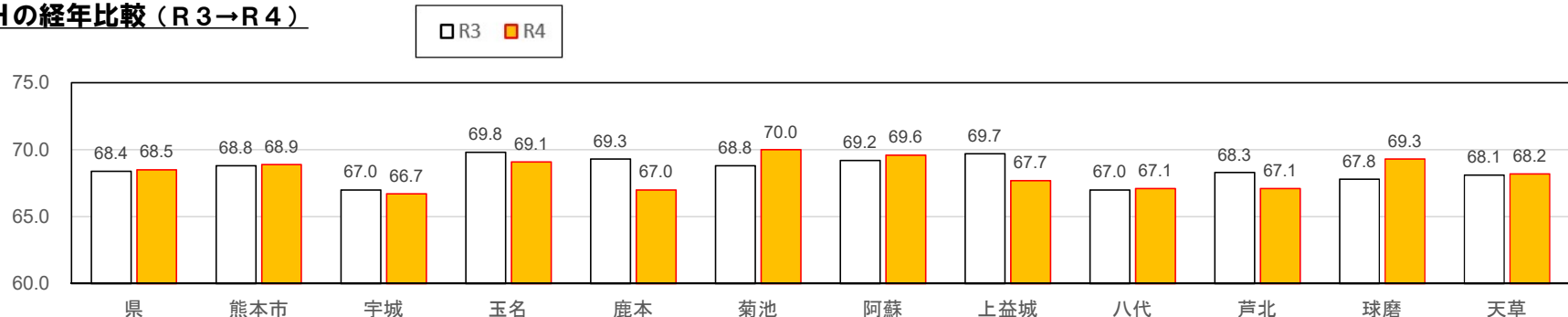
《算出結果 (R4)》

$$\text{AKH} = 64.4079 + 35.4\% (a) \times 0.1405 - 3.4\% (b) \times 0.2642 = 68.5$$

《グラフを使ったAKH活用の考え方》

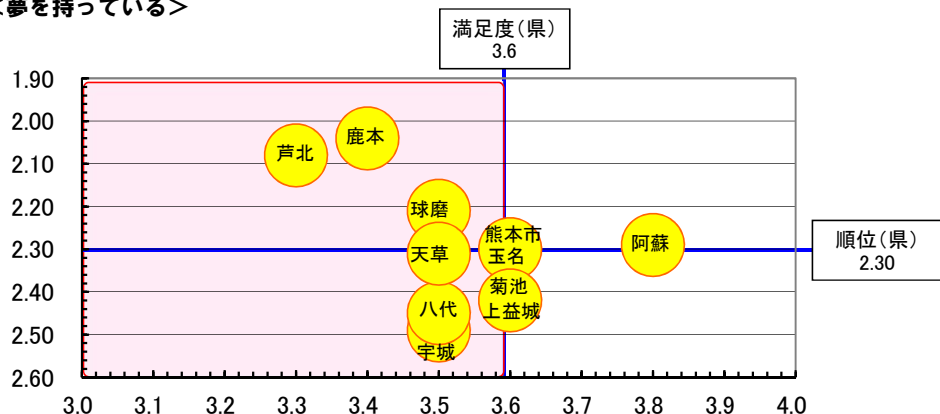


1. AKHの経年比較 (R3→R4)



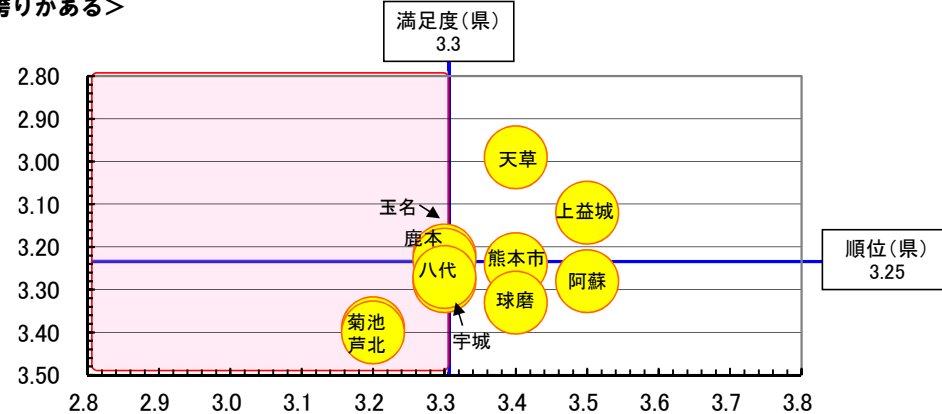
2. 満足度と重視する順位の関係 (R4) ※横軸:満足度/縦軸:重視する順位 (グラフの考え方は②ページ)

<夢を持っている>



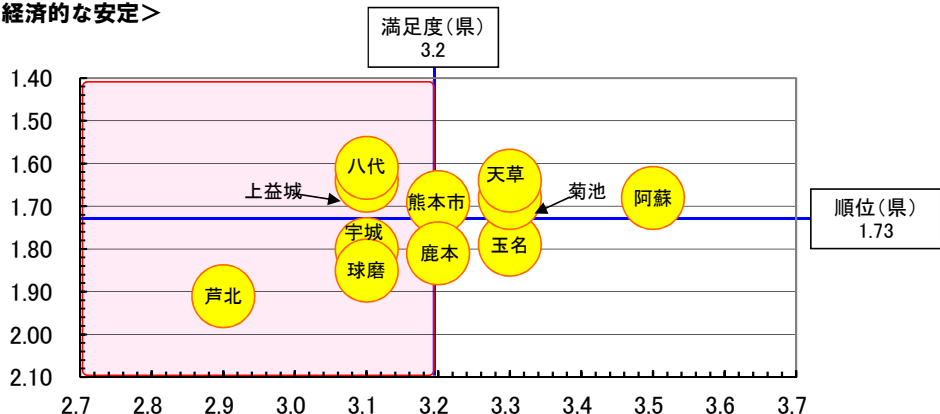
	県	熊本市	宇城	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草
満足度	3.6	3.6	3.5	3.6	3.4	3.6	3.8	3.6	3.5	3.3	3.5	3.5
重視する順位	2.30	2.30	2.49	2.30	2.04	2.41	2.29	2.42	2.45	2.08	2.21	2.31

<誇りがある>



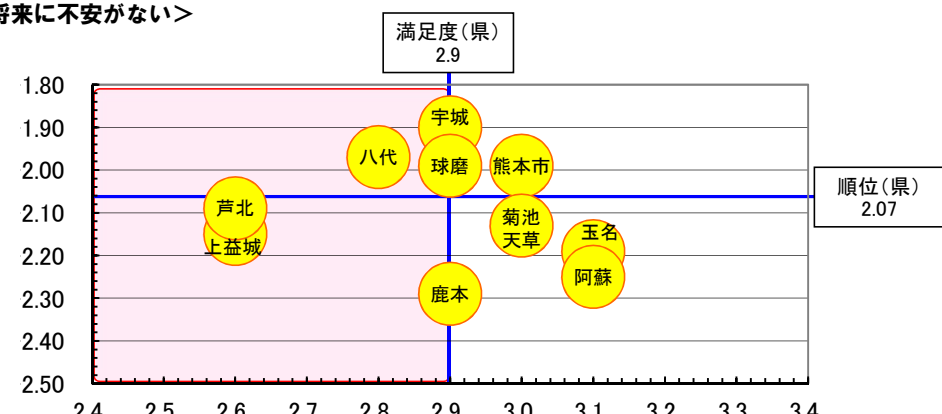
	県	熊本市	宇城	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草
満足度	3.3	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.5	3.5	3.3	3.2	3.4	3.4
重視する順位	3.25	3.24	3.28	3.22	3.23	3.39	3.28	3.12	3.27	3.40	3.33	2.99

<経済的な安定>



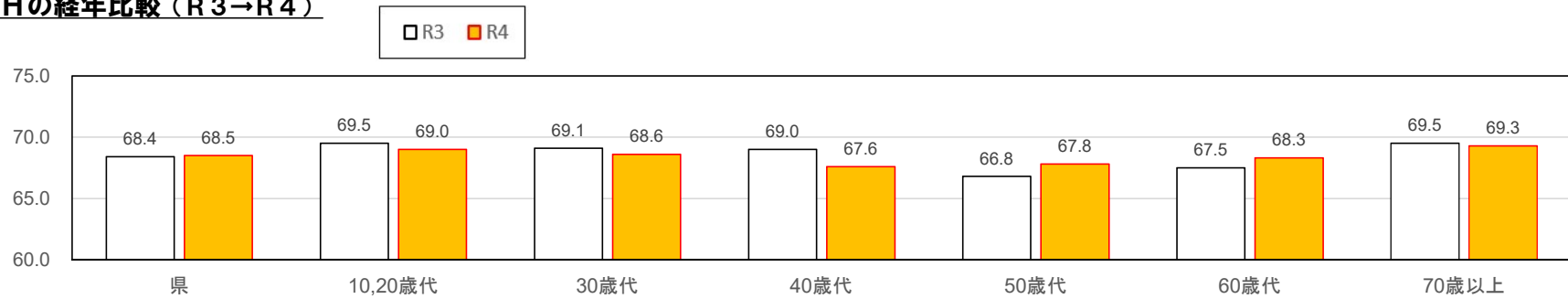
	県	熊本市	宇城	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草
満足度	3.2	3.2	3.1	3.3	3.2	3.3	3.5	3.1	3.1	2.9	3.1	3.3
重視する順位	1.73	1.69	1.80	1.79	1.81	1.68	1.68	1.64	1.61	1.91	1.85	1.64

<将来に不安がない>



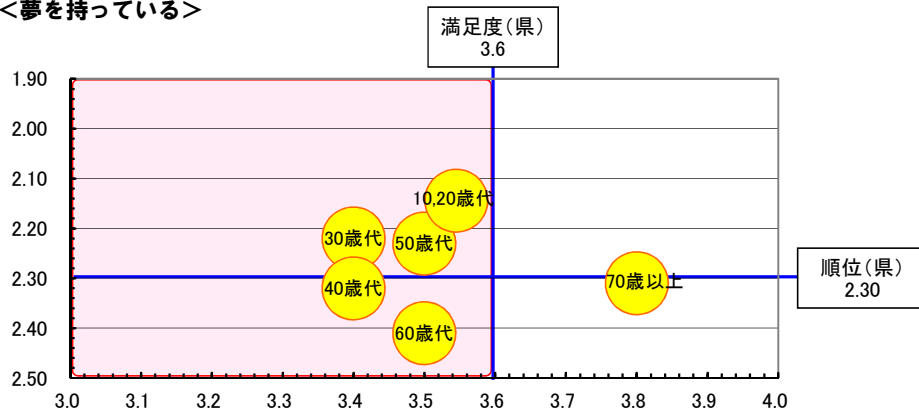
	県	熊本市	宇城	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草
満足度	2.9	3.0	2.9	3.1	2.9	3.0	3.1	2.6	2.8	2.6	2.9	3.0
重視する順位	2.07	1.99	1.90	2.19	2.29	2.13	2.25	2.15	1.97	2.09	1.99	2.13

1. AKHの経年比較 (R3→R4)



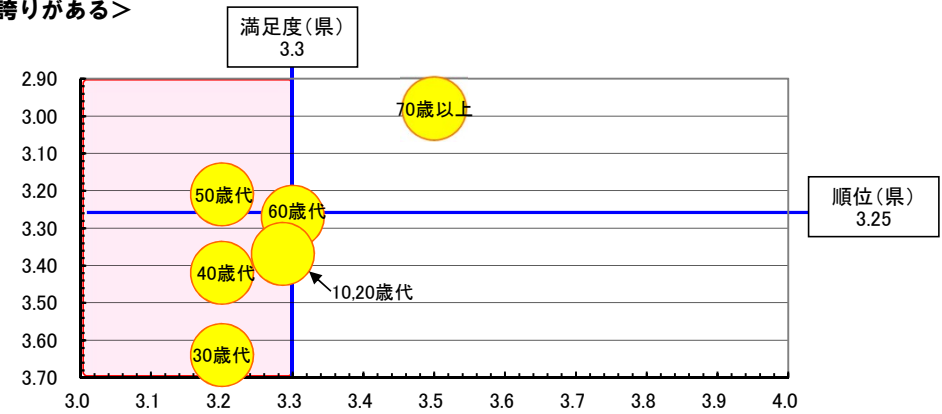
満足度と重視する順位の関係 (R4) ※横軸:満足度/縦軸:重視する順位 (グラフの考え方は②ページ)

<夢を持っている>



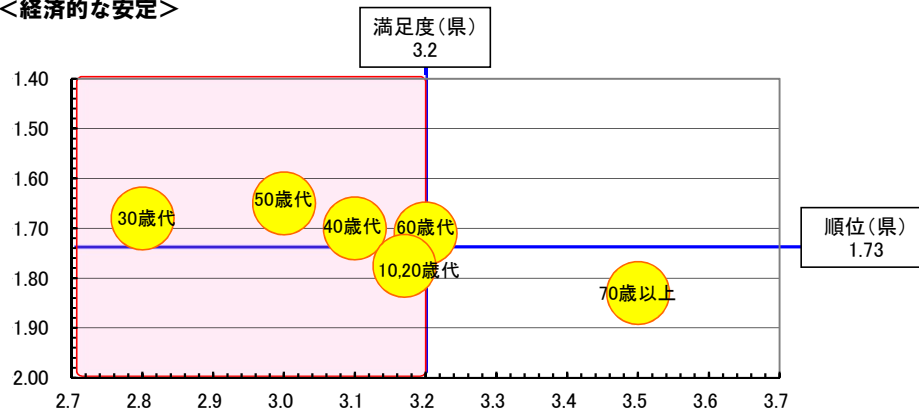
	県	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
満足度	3.6	4.0	3.5	3.4	3.4	3.5	3.5	3.8
重視する順位	2.30	2.00	2.18	2.22	2.32	2.23	2.41	2.31

<誇りがある>



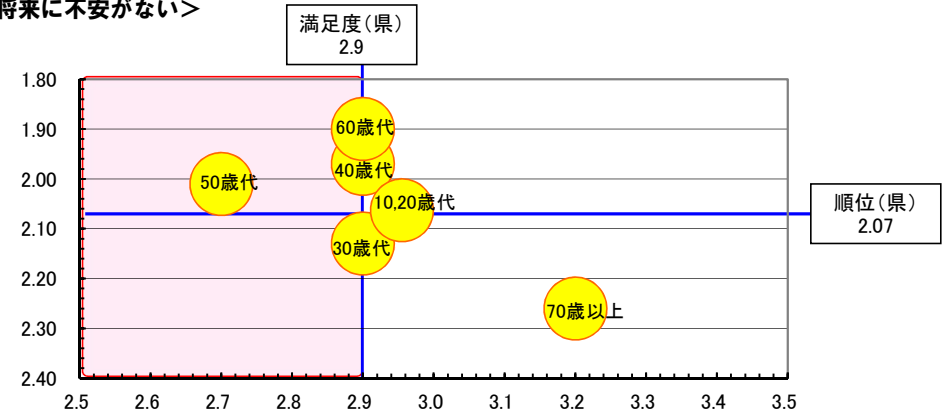
	県	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
満足度	3.3	3.5	3.3	3.2	3.2	3.2	3.3	3.5
重視する順位	3.25	3.45	3.35	3.64	3.42	3.21	3.27	2.98

<経済的な安定>



	県	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
満足度	3.2	3.9	3.0	2.8	3.1	3.0	3.2	3.5
重視する順位	1.73	1.65	1.80	1.68	1.70	1.65	1.71	1.83

<将来に不安がない>



	県	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
満足度	2.9	3.1	2.9	2.9	2.9	2.7	2.9	3.2
重視する順位	2.07	2.25	2.02	2.13	1.97	2.01	1.90	2.26